

木簡研究 第11号

1989年11月刊

巻頭言

狩 野 久

1988年出土の木簡

1977年以前出土の木簡 (11)

中国出土簡牘的保護研究

中国出土木・竹簡の保存科学的研究 (抄訳)

(訳) 胡 繼 高
佐 川 正 敏

木箱と木簡

小 池 伸 彦

所謂『長屋王家木簡』の再検討

大 山 誠 一

有韻尾字による固有名詞の表記

犬 飼 隆

木簡研究 第12号

1990年11月刊

巻頭言

田 中 琢

1989年出土の木簡

1977年以前出土の木簡 (12)

森ノ内遺跡出土の木簡をめぐって

山 尾 幸 久

木簡類による和名抄地名 ―日本語学のたちばから―

工 藤 力 男

内資人考

春 名 宏 昭

木簡研究 第13号

1991年11月刊

巻頭言

笹 山 晴 生

1990年出土の木簡

1977年以前出土の木簡 (13)

下曾我遺跡と出土木簡

鈴 木 靖 民

香川県長福寺出土の木簡 ―備蓄錢に伴って出土した木簡―

館 野 和 己

「二条大路木簡」と古代の食料品貢進制度

樋 口 知 志

中国簡牘学国際学術検討会参加記

佐 藤 信

木簡研究 第14号

1992年11月刊

巻頭言

八 木 充

1991年出土の木簡

1977年以前出土の木簡 (14)

考古資料としての古代木簡

山 中 章

八幡林遺跡等新潟県内出土の木簡

小 林 昌 二

木上と片岡

岩 本 次 郎

下級国司の任用と交通 ―二条大路木簡を手がかりに―

鈴 木 景 二

「敦煌漢簡」研究の現状と課題

吉 村 昌 之

木簡研究 第15号

1993年11月刊

巻頭言

早 川 庄 八

1992年出土の木簡

1977年以前出土の木簡 (15)

国・郡の行政と木簡 ―「国府跡」出土木簡の検討を中心として―

加 藤 友 康

京都府相良郡木津町鹿背山郷の俵上札

田 中 順 一 郎

(バックナンバーの頒布については、本誌137ページ参照)